

# 立水栓ユニット シャルム

# 取付•取扱説明書

このたびは、日本興業の立水栓ユニットをお買い上げいただきありがとうございます。 末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いします。

## 施工の前に

#### ●設置場所の確認

- 設置場所に寸法的に正しく収まるかどうか確認してください。
- 母屋の屋根から雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
- 梱包明細書に記載の部材、部品がすべて揃っているかどうか確認してください。
- 製品の施工は、必ずこの「取付・取扱説明書」にしたがってください。
- この「取付・取扱説明書」は、施行終了後お客様にお渡しください。

#### 施工上のご注意

- 運搬、施工時は製品をぶつけないようにしてください。
- 製品を横に倒して長時間、地面等に放置しないでください。
- 製品の改造はおこなわないでください。
- 基礎部の寸法は、指定以上の寸法としてください。現場の状況に応じて、基礎部のコンクリートの体積を考慮してください。
- 塩分を含む砂、塩素系のモルタル混和材は腐食の原因になるため使用しないでください。
- 施工時に製品に付着したモルタルやコンクリート等は、表面に傷をつけないように速やかに清掃してください。
- 施工終了後は、ネジ類の締まり具合をもう一度確かめてください。
- 配管の抜けや破損を防ぐため、設置する場所は平坦な場所としてください。
- 施工の手順でコーキング指示のある所には、シリコン系充鎮材でコーキングをおこなってください。

## 使用上のご注意

### ■警告及び注意表示

	整 <u>件</u> 言口	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
$\triangle$	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## ■絵記号の意味

$\Diamond$	禁止	│ この記号は禁止の行為を告げるものです。指示内容をよく読み禁止されている事項は絶対に行わないでく │ ださい。
•	厳守	   この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。指示内容をよく読み必ず実施してください。 
Ŵ	注意	この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。指示内容をよく読み取り扱いに注意してく ださい。

## /!\ 警告



- 本来の用途以外では使用しないでください。
- 製品の上に人が乗らないでください。

## ⚠ 注意 ≣

## ◯禁止

- 製品の改造をおこなわないでください。
- 施工後、製品が動くような強い衝撃を与えないでください。 ● 製品は耐熱仕様ではありません。フライパン、鍋などの高温の物を直接置かないでください。
- 汚れやカビの原因となるので、水(雨水や食器洗い後の汚水等)をためたまま長時間放置しないでください。
- 製品は寒冷地用ではありません。凍結が予想される夜間または長時間使用しない時には配管内、水栓内の 水抜きをおこなうなどの凍結防止策をおこなってください。

- 当社別売品の蛇口は寒冷地用ではありません。凍結が予想される地域では、寒冷地用の水栓を別途お買い 求めください。
  - 使用後は、スポンジなどで軽くこすり、汚れを水で洗い流してください。

## /<u>|</u>|注意

- 製品はコンクリートを塗装したものなので、まな板代わりに使用したり、砂粒や素焼の鉢などでこすれる と表面にキズがつく場合があります。
- 研磨剤の入った洗剤や、金属製ブラシ、スチールウールなどで磨くと表面にキズがつく場合があります。

## 梱包明細書

## 梱包明細書

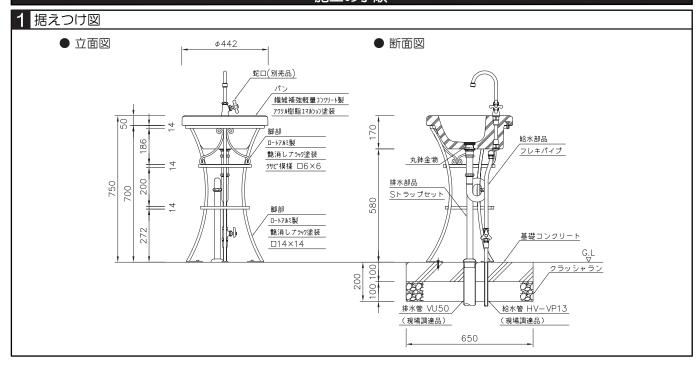
名和	<b></b>	数量	仕様
/%]	ソ	1	繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂エマルション塗装
胠		1	ロートアルミ製・艶消しブラック塗装
固定用 トラス小ねじ		3	ステンレス製
	排水テール	1	黄銅製
	トラップU管	1	黄銅製
	ステッキ管	1	黄銅製
排水部品 Sトラップセット	排水管フクロナット	3	黄銅製
	排水さしこみパッキン	1	EPDM 製、PE 製各1 枚 / セット
	排水用平パッキン	1	ノンアスベスト製
	排水用平パッキン	1	NBR 製
	排水管シールワン	1	ステンレス製
排水部品	排水部品 防臭ゴム		CR • PVC 製
排水部品	排水部品 丸鉢金物		黄銅製
排水部品	排水部品 排水目皿		$\phi$ 54mm $ullet$ 黄銅製
給水部品	止水栓	1	青銅製
給水部品	フレキパイプ	1	ステンレス製
給水部品	ニップル	1	黄銅製
給水部品	偏芯ザルボ	1	青銅製
給水部品 バ	ルブソケット	1	_
	グリップアンカー	3	
固定金具セット	丸ワッシャー		ステンレス製
	ボタンキャップボルト		
スポンジゴ	ムシール	1	片面接着 • 1m
取付•取扱		1	A3:2頁

#### 現場調達品

名称	数量	仕様		
給水管·継手	_	HI-VP13		
排水管·継手	_	VU50		
給水管用保温筒	約60cm	_		
シーリング材	_	シリコン系充填材		

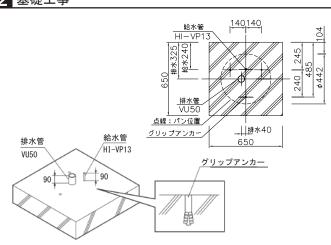
※施工に必要な工具や資材(スコップ、セメント、砂、シールテープ、配管接続用接着剤)などは別途ご用意ください。

## 施工の手順



#### 施工の手順

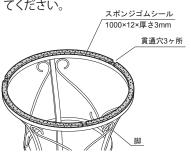
## 2 基礎工事



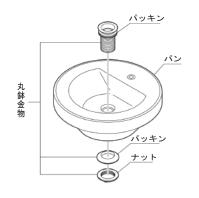
- ① 所定の寸法で床掘りを行います。
- ② 左の据えつけ図を参考に、給水管と排水管の立ち上 がり位置(製品付属の配管部品との接続位置)を確 認し、コンクリートの仕上げ面から給水管(HI-VP 13)、排水管(VU50)約 90mm 程度飛び出るよう 配管工事を行います。
- ③ クラッシャランを敷き転圧をおこないます。
- ④ 基礎コンクリートを打設し、製品設置面のレベルを だします。
- ⑤ 左の据えつけ図を参考に、脚(ロートアルミ)の立ち 上がり位置(製品付属の固定金具との接続位置)を 確認し、グリップアンカーを取り付けます。

## 3 パン、脚の設置

- ① 脚 (ロートアルミ)上面の貫通穴位置を ③ パンを逆向きにし、給水部に 除く部分に、スポンジゴムシールをカッ トしながら貼り付けます。
- ↑ 脚上面部の貫通穴位置には貼らないで ④ パンの埋め込みナットと脚 ください。また、はみ出さないよう注意し てください。

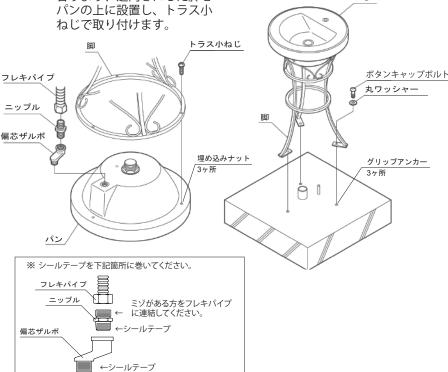


② パンに丸鉢金物を取り付けます。



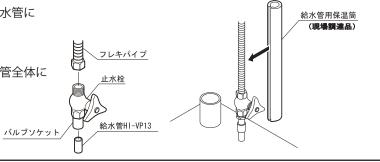
偏芯ザルボ、ニップル、フレ キパイプを取り付けます。(※)

(ロートアルミ) の穴位置が 合うよう、逆向きにした脚を ③を元の向きに直し、基礎工事で取 り付けたグリップアンカーが脚の貫 通穴位置にくるよう設置し、ボタン キャップボルトと丸ワッシャーで締 め付け固定します。



## 4 給水管の接続

- ① 給水管(HI-VP13)に止水栓を取り付けます。 止水栓のバルブソケット内側に接着剤を塗布し給水管に 差し込み固定します。
- ② 止水栓にフレキパイプを接続します。
- ③ 給水管用保温筒(現場調達)を露出してある給水管全体に まきます。

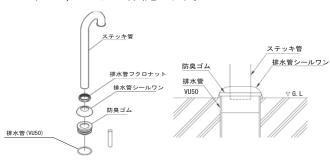


## 5 排水管の接続

① 排水管 (VU 50)の飛び出し部(約 90mm)を切除 し、製品設置面とレベルを合わせます。

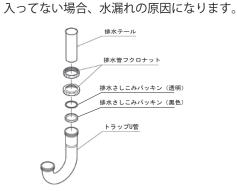


② ステッキ管に排水管フクロナット、排水管シール ワン、防臭ゴムを取り付け、防臭ゴムを、排水管 (VU50) にかぶせて固定します。



③ 排水テールとトラップ U 管を排水フクロナット で締め付け接続します。 このとき、左図のよう④で使用する排水管フクロ ナットを排水テールへ通しておきます。

排水テールとトラップ U 管を接続する排水管フク がホテールとエファフロロニスのの ロナットに、排水さしてみパッキン(透明1枚、 黒色1枚)が入っていることを必ず確認してください。



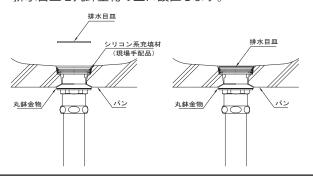
- ④ 排水テールと丸鉢金物を排水管フクロナットで締め付 け接続します。
- 排水管フクロナットに、排水用平パッキン(青色)が 入っていることを必ず確認してください。 入ってない場合、水漏れの原因になります。
- ⑤ トラップ U 管と②のステッキ管を排水管フクロナット で締め付け接続します。

排水管フクロナットに、排水用平パッキン(黒色)が 入っていることを必ず確認してください。 入ってない場合、水漏れの原因になります。

寒冷地や寒い時期には、水の凍結による排水管の破損 を防ぐため、トラップU 管の水を溜める部分 (悪臭や害虫等防止のために水を溜める排水部)に 市販の保温テープを巻くなどの適切な処置を行ってく ださい。



- ⑥ 丸鉢金物とパン部のすき間をシリコン系充填材 (現場調達) でコーキングします。
- ⑦ 排水目皿を丸鉢金物の上に設置します。



## 6 蛇口の取り付

- ① 水漏れ防止のため、蛇口(別売品)の ねじ部にシールテープを巻きます。
- ② 蛇口(別売品)をパンに締め付け固定 します。
- 寒冷地や寒い時期には、水の凍結による 蛇口の破損を防ぐため、先端の泡沫部品 を取り外し、中に溜まった水を取り除い てください。





● 製品の仕様、内容等につきましては、品質改良の為、予告なしに変更する場合があります。



日本興業株式会社